

第1回 貝塚公園既存施設のあり方検討会 議事録（要旨）

1 日時

令和6年8月21日(水)10時00分から12時00分まで

2 場所

福岡市役所本庁舎 15階 第3特別会議室(1503)

3 出席者（五十音順、敬称略）

市原猛志、佐田直樹、馬場公司、箱嶋次雄、柳優香(オンライン参加)

4 会議次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 議事

【報告】①貝塚公園の概要

②九州大学箱崎キャンパスのまちづくりについて

③貝塚公園 利用状況調査

【討議】④対象施設の紹介

⑤施設の評価方法(案)について

4. その他 今後のスケジュール
5. 閉会

委員からの主な意見

対象施設の紹介

【ゴーカート】

委員 ・貝塚公園の他に児童が交通に関する学習ができる場所や機会などがあるのか。

事務局 ・学校等で自転車の交通安全教室を行ったりしている。ゴーカートで教育する場合は、他にはない。

【ブルートレイン】

委員 ・ブルートレインは数が少なく、全国的にも希少なものである。

・定期的なメンテナンスを行っても劣化していくことを考えていけば、屋根を掛けた方が長期的には経済性が高い。

・屋根を広く取り野外マルシェで使っている事例や車両をカフェとして活用する事例もあるため、適切な活用方法と長期的な視点を持って検討していくとよりよい。

・普段使っている人たちにどのように愛着を持ってもらうかが大事だと思う。価値が分かるような展示の仕方をしているのか。

事務局 ・解説看板を設置している。

【蒸気機関車】

- 委員 ・ 今後も蒸気機関車を展示していくことになり、民間の方が補修などの管理を行う場合は、クラウドファンディングの立ち上げを応援して欲しい。
- ・ 蒸気機関車の所有者は誰か。また、誰が管理しているのか。
- 事務局 ・ JR九州から貸与して展示している。管理は福岡市が行っている。
- 委員 ・ 民間の厚意に甘えるのではなく、市が管理すべきじゃないのか？
- ・ 今後も蒸気機関車を展示する場合は、維持管理も考慮し、継続的に展示できるよう検討するべき。
- ・ 鉄道車両は、修復のノウハウが確立されており、福岡県に修復に関する業者が2社ある。塗り直しによる修復作業になることが多く、それほど難しい修復ではないが、修復業者の順番待ちになると思うので挺入れが必要。
- ・ 蒸気機関車の状態が公園全体の評価に繋がる。改善していかなければならないと思う。

【飛行機】

- 委員 ・ 航空機としての価値がないとはどういう意味か。
- 事務局 ・ 日本にゆかりがある飛行機ではなく重要な航空機ではないと伺った。
- ・ この飛行機自体が広島空港にあったようで、貝塚公園が交通公園になるということで、広島空港から展示物としてこちらに移転したと聞いた。
- 委員 ・ なぜ中がボロボロになるのか。
- ・ 飛行機は、蒸気機関車に比べて保存に対するノウハウがないからである。
- ・ 人が寄り付けない状況を見ると個人的には「撤去」してもいいと思う。
- ・ お金をかけて再生するより「撤去」した方がいいのではないか。
- ・ 航空機に関しては、蒸気機関車と違って保存・活用に対するノウハウがそれほど蓄積されていない。国立科学博物館所蔵の飛行機でさえ現物保存の維持困難さから民間の博物館と連携し移設した。当該機種は国内において、ややマイナーな機種である。飾っているという意味での思い入れを持たれている方はいると思うが、保存状態はよろしくない。「撤去する」という結論もやむを得ない。
- ・ 例えばコックピットの計器など、部材レベルで譲る、もしくは、公園のモニュメントにする等、残す余地はあると思う。
- ・ あまり福岡に縁がない飛行機をモニュメントにする意味があるのか、疑問である。

【ジープニー・サムロー】

- 委員 ・ 貝塚公園にあるサムローは展示だけで乗れない。乗ることが意味ある車だと思う。
- ・ この車両は汎用車であるため、貴重だから残している車両ではないと思う。もとは、よかトピアの記念物として保管してあるため、よかトピアに対する思い出、あるいは貝塚公園に飾ってある思い出で貰いたいという人はいるかもしれない。
- ・ こういった車両で都内を走ってお客さんを運ぶサービスがあるので、そういった企業に寄贈してもいいかと思う。

【石の山】

- 委員 ・「石の山については残して欲しい」という意見が圧倒的に多いため残してほしい。
- ・石の山は、素材がコンクリートであることや傾斜が急こう配であることが問題である。雨で濡れている場合は、滑りやすく、転倒時には頭を強打する危険性が高い。また、胴体がすり抜けて首が挟まる様な構造となっている箇所が多数存在し、躯体もかなり老朽化しているので、補修で改善できるような状況ではない。
 - ・足元にネットを1周張って、転倒した子どもを受け止めるなど、今の基準に合うように工夫ができないか。
 - ・安全基準や躯体の老朽化のことを考えると、全面撤去して今の基準にあった安全な遊具を設置した方が良いのではないかな。
 - ・従来の機能を維持し、現行の安全基準を満たす代替え施設を設置するという方法もあると思う。
 - ・安全基準が50年前とは変わっているため、このまま残すことは無理だろうと理解している。
 - ・一度に多くの子どもたちがそれぞれの遊び方で楽しむことができる、とてもいい遊具だと思う。

【ジグザグ滑り台】

- 委員 ・階段（梯子）の入り口部分は、開口部が狭く外から見えないという問題がある。また、階段（梯子）から子どもが落下した場合、下から登ってくる子どもと衝突すること。階段（梯子）部分の中が狭いので「補修」や「改修」では、改善が難しい。
- ・類似する滑り台を代替遊具として設置してはどうか。
 - ・「撤去」と決まったらオークランド市に事前に伝える必要があると思う。
- 事務局 ・関連部署と相談しながら、オークランド市との関係も含めて検討する。

【置物遊具、ブランコ、鉄棒】

（意見なし）

【桜島溶岩】

- 委員 ・貝塚公園になくてもいいが、公共施設など興味がありそうな方への確認が必要。

【日時計】

- 委員 ・日時計は残して良いと思う。

【石碑】

（意見なし）

【人工池】

（意見なし）

【観覧席】

- 委 員 ・旧競輪場の名残なのか。
- 事務局 ・競輪場時代の航空写真と現況図面を重ねると位置が一致しない。また、公園整備時の関係者に聞き取りを行ったところ、交通学習を受けるために整備されたと伺った。

【ローラースケート場】

(意見なし)

【徒歩池】

(意見なし)

【レストハウス】

- 委 員 ・売店もなくなってしまったためレストハウスの意味がない。
- ・園内に食べる場所がないので、こういった場所が必要。

【全体】

- 委 員 ・高齢者の利用が、全体の 10%という結果が気になる。たった 10%の高齢者の利用で、はたして公園といえるのか。公園のあり方をもっと見直して欲しいと思う。
- ・道路の新設により公園が 2 つに分かれるため、この公園を 2 つの公園と考え、それぞれ目的を持たせてはどうか。例えば、子どもたちが遊べる遊具がある公園と高齢者向けの健康遊具等がある公園のように区分してはどうか。利用を区分することで、道路を横断する回数が減り、安全性が高まると考えられる。
- ・貝塚公園の周辺には飲食店が少ないため、貝塚駅周辺に食事ができる場所を検討して欲しい。
- ・貝塚駅の真正面の通りであるため、カフェを設置するなど、大人も過ごしやすい公園にして欲しい。

評価方法について

- 委員 ・ 安全性・健全性を第一に評価すべき。利用状況や価値より安全性の方が優先度は高いと思う。
- ・ 総合評価の考え方の検討が必要。例えば、遊具としては利用状況を鑑みる、それから、展示されている車両や記念碑などは利用しようがないので、利用状況の重みを低め、もしくは置かないなどの重みづけを考えていく必要がある。

その他意見

- 委員 ・ 公園全体をどうするかということを考えると、色々な世代が楽しめる公園であって欲しいと思う。子育て世代や子どもたちからも意見を聞いて欲しい。そういった意見を聞く場を作って欲しいと思う。
- 事務局 ・ 子どもや子育て世代などのご意見をどのように聞いていくのか、やり方も含めて、地域の方々と相談させて頂きながら検討する。
- 委員 ・ この貝塚公園は交通公園であり、交通ルールを学ぶための公園というのがコンセプトであったが、再整備を機にそのコンセプトを無くして、自由度をあげた公園を目指すべきと考える。

今後のスケジュール

第2回検討会は10月11日(金)10時00分からを予定する。

以上